

振動騒音測定結果 ハンマーグラブ掘削 測点距離10m

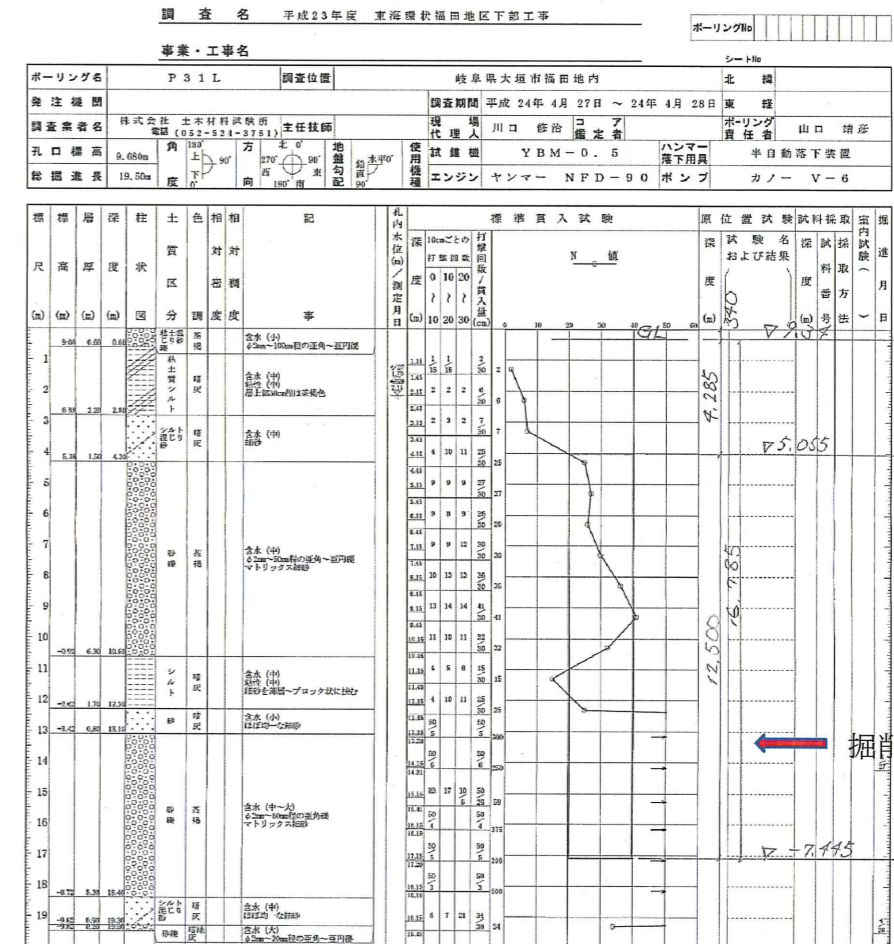
工事名 平成23年度 東海環状福田地区下部工事
橋脚名、杭名称 P31R 杭番号7

1. 計測概要

工法名	全旋回工法(ハンマーグラブ掘削)
測点距離(m)	10
測定時点での掘削深度(m)	13
土質状況(図1参照)	砂礫層(N=300)
杭仕様	φ1500 杭長12.5m 掘削長16.785m
計測日	平成24年8月17日
計測者	植田基工株式会社
騒音計測要領	JIS Z 8731(周波数補正回路はA特性、動特性はFAST、測定時間は10分)
騒音の評価方法	測定値の90パーセントレンジの上端の数値
騒音計測時刻(1回目)	12:38~12:48
騒音計測時刻(2回目)	13:25~13:35
騒音計測データ名(1回目)	AU2_2001
騒音計測データ名(2回目)	AU2_2002
振動計測要領	JIS Z 8735(鉛直方向計測、鉛直振動特性、計測時間10分)
振動の評価方法	測定値の80パーセントレンジの上端の数値
振動計測時刻(1回目)	12:47~12:51(不完全)
振動計測時刻(2回目)	13:33~13:43
振動計測データ名(1回目)	AU2_2001
振動計測データ名(2回目)	AU2_2002



ボーリング柱状図



2. 計測結果

(1)騒音計測(1回目)

Address	Time	Measurement Time	LAeq	LAE	LAmx	LAmn	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak	Over	Under	Pause
1	2012/8/17 12:48	0:10:00	77	104.7	95.8	72.1	79.9	78.1	75.6	73.6	73.3	110.1	Over	-	-

(2)騒音計測(2回目)

Address	Time	Measurement Time	LAeq	LAE	LAmx	LAmn	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak	Over	Under	Pause
1	2012/8/17 13:35	0:10:00	75.1	102.8	92.6	67.2	79	76.8	72.6	70.3	69.9	110.8	-	-	-

(3)振動計測(1回目)

Address	Time	Measurement Time	Z_Lveq	Z_Lvmax	Z_Lvmin	Z_Lv5	Z_Lv10	Z_Lv50	Z_Lv90	Z_Lv95	Over	Under	Pause
1	2012/8/17	12:51:40	0:03:50	51.8	61.7	38.7	56.5	55.1	50	46.5	45.3	Under	Under

(4)振動計測(2回目)

Address	Time	Measurement Time	Z_Lveq	Z_Lvmax	Z_Lvmin	Z_Lv5	Z_Lv10	Z_Lv50	Z_Lv90	Z_Lv95	Over	Under	Pause
1	2012/8/17	13:43:44	0:10:00	55	76.9	38.2	60.5	57.3	49.6	46.2	44.7	Under	Under

3. まとめ

- ①換算N値300の砂礫層(支持層)における測点距離10m地点のハンマーグラブ掘削での騒音レベルは、80dB(A)であった。これは、同条件で計測したスカイチャック工法掘削時の騒音レベル76dB(A)を4dB(A)も上回っており、明らかにその有意差が体感出来た。
- ②換算N値300の砂礫層(支持層)における測点距離10m地点のハンマーグラブ掘削での振動レベルは、55~57dBであった。これは、同条件で計測したスカイチャック工法掘削時の振動レベル52~56dBを多少上回っているものの、ハンマーグラブの落下時を除けば、有意差を体感出来るほどではなかった。

以上

振動騒音測定結果 ハンマーグラブ掘削 測点距離38.7m(民家前)

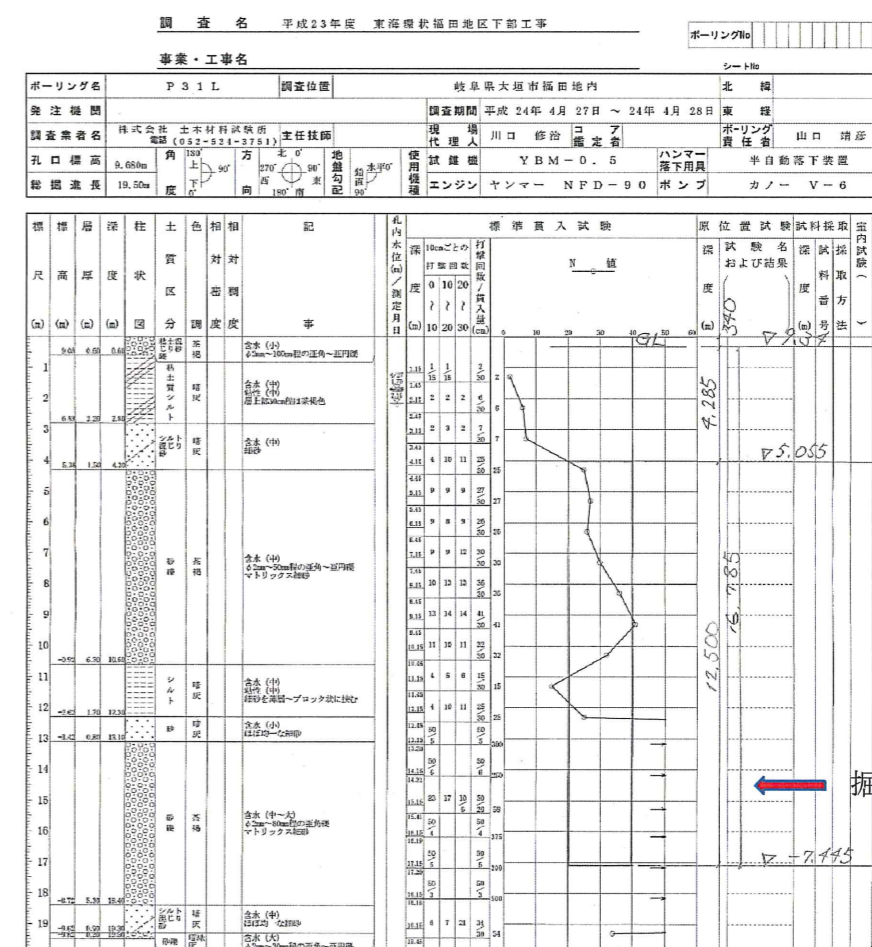
工事名 平成23年度 東海環状福田地区下部工事
橋脚名、杭名称 P31R 杭番号7

1. 計測概要

工法名	全旋回工法(ハンマーグラブ掘削)
測点距離(m)	38.7
測定時点での掘削深度(m)	15
土質状況(図1参照)	砂礫層(N=300)
杭仕様	φ1500 杭長12.5m 掘削長16.785m
計測日	平成24年8月17日
計測者	植田基工株式会社
騒音計測要領	JIS Z 8731(周波数補正回路はA特性、動特性はFAST、測定時間は10分)
騒音の評価方法	測定値の90パーセントレンジの上端の数値
騒音計測時刻(1回目)	13:43~13:53
騒音計測時刻(2回目)	13:59~14:04(不完全計測)
騒音計測データ名(1回目)	AU2_2101
騒音計測データ名(2回目)	AU2_2102
振動計測要領	JIS Z 8735(鉛直方向計測、鉛直振動特性、計測時間10分)
振動の評価方法	測定値の80パーセントレンジの上端の数値
振動計測時刻(1回目)	13:51~14:01
振動計測時刻(2回目)	14:07~14:12(不完全計測)
振動計測データ名(1回目)	AU2_2101
振動計測データ名(2回目)	AU2_2102



ボーリング柱状図



2. 計測結果

(1)騒音計測(1回目)

Address	Time	Measurement Time	LAeq	LAE	LAmx	LAmn	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak	Over	Under	Pause
1	2012/8/17 13:53	0:10:00	62.4	90.2	80.8	52.9	66.9	64.8	60.6	56.1	55.1	96.4	-	-	-

(2)騒音計測(2回目)

Address	Time	Measurement Time	LAeq	LAE	LAmx	LAmn	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak	Over	Under	Pause
1	2012/8/17 14:04	0:05:33	61.6	86.8	80.6	51.9	65.9	63.3	56.4	53.8	53.2	97.4	-	-	-

(3)振動計測(1回目)

Address	Time	Measurement Time	Z_Lveq	Z_Lvmax	Z_Lvmin	Z_Lv5	Z_Lv10	Z_Lv50	Z_Lv90	Z_Lv95	Over	Under	Pause
1	2012/8/17	14:01:15	0:10:00	38.2	56.1	25.5	42.3	40.5	35.9	30.9	29	Under	Under

(4)振動計測(2回目)

Address	Time	Measurement Time	Z_Lveq	Z_Lvmax	Z_Lvmin	Z_Lv5	Z_Lv10	Z_Lv50	Z_Lv90	Z_Lv95	Over	Under	Pause
1	2012/8/17	14:12:15	0:05:26	41.3	63.4	25.1	44.5	40.2	31.7	27.4	26.9	Under	Under

3. まとめ

- ①換算N値300の砂礫層(支持層)における測点距離10m地点のハンマーグラブ掘削での騒音レベルは、80dB(A)であった。これは、同条件で計測したスカイチャック工法掘削時の騒音レベル76dB(A)を4dB(A)も上回っており、明らかにその有意差が体感出来た。
- ②換算N値300の砂礫層(支持層)における測点距離10m地点のハンマーグラブ掘削での振動レベルは、55~57dBであった。これは、同条件で計測したスカイチャック工法掘削時の振動レベル52~56dBを多少上回っているものの、ハンマーグラブの落下時を除けば、有意差を体感出来るほどではなかった。

以上